

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

**【書き方ガイド】**

共同申請の場合、取りまとめて提出する事業者を事務局では代表申請者として扱います。

補助事業で1つ作成する様式については、申請者名に代表申請者名を記載してください。

記載内容についての事務局からの問い合わせは、代表申請者に行いますので、対応をお願いします。

申請者	住所	
	氏名	(法人の名称)
		(代表者の役職・氏名)
共同申請者	住所	
	氏名	(法人の名称)
		(代表者の役職・氏名)

(共同申請の場合は、上記項目を申請者ごとに続けて記載)

蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術導入・開発促進事業の応募について

蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術導入・開発促進事業について、当該補助事業に係る投資計画が不支給要件に該当しないことを確認の上、下記のとおり応募します。

記

1. 申請する事業分類(該当にチェック)

**【書き方ガイド】**

1件の応募に対して、A~Cの事業分類から**いずれか1つを選択**してください。  
なお、1社で複数の案件の応募は可能です。

分類A(蓄電池)

車載用(駆動用)蓄電池(乗用自動車用および軽自動車/重量車用)、定置用蓄電池に関して、先端的なリチウムイオン電池の国内生産基盤を確保するための設備投資及び研究開発投資を行う事業

分類B(材料・部材)

先端的なリチウムイオン電池の材料・部材に関して、国内生産基盤を確保するための設備投資及び研究開発投資を行う事業

【生産する材料・部材の名称】 \_\_\_\_\_

分類C(リサイクル)

廃棄される車載用(駆動用)・定置用リチウムイオン電池又はその処理物、工程端材等からリチウムイオン電池材料へとリサイクルする工程に関して、国内のリサイクル拠点を確保するための設備投資及び研究開発投資を行う事業

2. 補助事業の名称

**【書き方ガイド】**

各事業の区別のため、設備/研究開発投資の内容について**端的に表現した名称**を記載ください(1行程度)

3. 補助事業の概要（以下の内容が分かるよう全体で5行程度で記載）

- ・ 補助事業全体の目的、設備投資の概要、研究開発の概要

**【書き方ガイド】**

補助を受け実施する設備投資・研究開発投資の目的および内容（両者の関係を含む）が端的に理解できる内容としてください。

**【書き方ガイド】**

別添ファイルの提出については、必須ではありません。また、別添ファイルの作成様式については問いませんが、容量が大きい場合、提出時の容量制限(1ファイル最大16MB)にご注意ください。

※別途、概要がわかる資料がある場合、上記回答の上、別添ファイルとしての提出も可能です。

4. 補助事業の開始及び完了予定日

- ・ 設備投資

開始予定日：20XX年XX月XX日

完了予定日：20XX年XX月XX日

- ・ 研究開発投資

開始予定日：20XX年XX月XX日

完了予定日：20XX年XX月XX日

**【書き方ガイド】**

補助対象となる期間は以下の記載の通りです。ご注意ください。

設備投資について

- ・ 原則 **交付決定以降の開始**  
(2021年12月21日以降の着手であれば、**事前着手承認書(様式10)の提出により**先行着手は可能です。)
- ・ 原則 **2025年度末(令和7年度末)完了**

研究開発投資について

- ・ **交付決定後の開始**
- ・ **2026年度末(令和8年度末)までの完了**

5. 補助事業に要する経費

6. 補助対象経費

円

7. 補助金交付申請額

円

※5. 6. 7. は別添「補助金算定」(Excel)より転記。

**【書き方ガイド】**

転記ミスのないように十分ご注意ください

8. 実施体制図(概要)

(記述内容)

本補助事業を円滑に遂行するための実施体制図。

- ・ 操業以降の実施体制ではなく、本補助事業の実施体制。
- ・ 設備投資、研究開発投資の体制を分けて記載も可。
- ・ 組織の構造や役割分担を図示し、組織長やリーダーなど主要メンバーの氏名・役割なども記載。
- ・ 共同申請の場合は、共同事業全体での実施体制とし、各事業者の役割・連携が分かるもの。
- ・ 補助事業が円滑に遂行可能な体制であることが説明できるものとしてください。

(様式第2)(補助事業分類A・B・C)(共同申請の場合は、申請者ごとに作成)

2022(令和4)年XX月XX日

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所

氏名 (法人の名称)

(代表者の役職・氏名)

**【書き方ガイド】**  
共同申請の場合は、記載を行った各申請者名を記載してください  
(代表申請者名ではない)

**【書き方ガイド】**  
申請者ごとに作成し、代表となる申請者が他の様式も含めてまとめて提出してください

補助事業概要説明書

補助事業の名称: \_\_\_\_\_

(共同申請の場合)

代表申請者の法人名: \_\_\_\_\_

### 1. 補助事業の実施計画

#### (1) 補助事業の実施場所等

**【書き方ガイド】**  
補助事業の実施場所について、採択後に変更がある場合は、事業全体について再審査となる場合がありますのでご承知おきください。

##### (イ) 設備投資の実施場所

施設の名称	
施設の所在地(住所)	県 市 町●番●号
施設の所有状況 (該当をチェック)	【土地】 <input type="checkbox"/> 自社またはグループ会社所有・ <input type="checkbox"/> 他者所有 【建物】 <input type="checkbox"/> 自社またはグループ会社所有・ <input type="checkbox"/> 他者所有

※複数拠点で設備投資を行う場合は、表を追加して記載

**【書き方ガイド】**  
建物に関して、新設の場合も予定する所有者をチェックで入れてください。

##### (ロ) 研究開発投資の実施場所

施設の名称	
施設の所在地(住所)	県 市 町●番●号
施設の所有状況 (該当をチェック)	【土地】 <input type="checkbox"/> 自社またはグループ会社所有・ <input type="checkbox"/> 他者所有 【建物】 <input type="checkbox"/> 自社またはグループ会社所有・ <input type="checkbox"/> 他者所有

※複数拠点で研究開発投資を行う場合は、表を追加して記載

**【書き方ガイド】**  
建物に関して、新設の場合も予定する所有者をチェックで入れてください。

(2) 補助事業の収支予算（共同申請の場合は、申請者個別の予算）

(イ) 収入

項目	金額
自己資金	円
起債又は借入金（注1）	円
その他	円
蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術導入・ 開発促進事業費補助金	円
上記以外の補助金（注2）	円
合計	円

（注1）起債又は借入金を利用する場合は、相談している金融機関名等を含め、その検討状況の概略を以下に記載すること。

--

（注2）「蓄電池の国内生産基盤確保のための先端生産技術導入・開発促進事業費補助金」以外を検討している場合には、以下に助成者、制度名、助成内容等を記載すること。

--

(ロ) 支出

	補助事業に 要する経費	補助対象経費
設備投資	円	円
研究開発投資	円	円
合計	円	円

(3) 補助事業の投資内訳

※別添「投資内訳」(Excel)に記載

**【書き方ガイド】**

「投資内訳」Excelにおける「委託費・共同研究費」のこと。  
なお、共同申請の場合は、事業者ごとの投資内訳をもとに判断してください。(他の共同申請者における研究開発投資は含みません)

(4) 委託費・共同研究費が研究開発投資の補助対象経費の50%を超える場合、その理由

(5) その他確認事項 ※設備投資を行わない申請者は除く

- 補助対象設備の配置概略図(建屋が専用でない場合、補助事業に使用する区域を併せて表示)
- 図については別添ファイルとして提出も可

2. 申請担当者連絡先

氏名:

部署名:

TEL:

E-mail:

**【書き方ガイド】**

補助対象となる設備の導入について、**建屋内における補助対象設備の配置等、投資計画の全体と補助対象の参考となる資料**を記載・貼付ください。  
(未確定な部分はそのように記載ください)

また、提出ファイル一つあたりの容量に限度があるため(16MB)、データ容量の大きい図表を添付する場合は別添ファイルとして提出も可能です。  
(提出書類の取りまとめ方法.pdfを参考)

3. その他添付書類

補助事業者の概要

- ・履歴事項全部証明書(写しで可)
- ・会社案内パンフレット等
- ・決算報告書(単体/連結)(直近3年分)

リース契約の概要 ※リースを行わない申請者は除く

- ・リース契約書(案)
- ・リース料金計算書(案)

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所

氏名 (法人の名称)  
(代表者の役職・氏名)

**【書き方ガイド】**  
共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。  
各項目については、事業全体としての取組・対応方針について記載ください。

補助事業の詳細

補助事業の名称: \_\_\_\_\_

1. 補助事業による生産品の用途(申請するものにチェック)

- 乗用自動車(軽自動車を除く)用 車載用(駆動用)蓄電池
- 軽自動車/重量車用 車載用(駆動用)蓄電池
- 定置用蓄電池

**【書き方ガイド】**  
1. でチェックした項目に対応した部分について、記入をしてください。

2. 設備投資の内容

(1) 乗用自動車(軽自動車を除く)用 車載用(駆動用)蓄電池

(イ) 設備投資の内容

**【書き方ガイド】**  
設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PRポイント(技術面、規模面、生産性等)、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。(5~10行程度)

(ロ) 補助事業による生産品の名称

**【書き方ガイド】**  
生産品の特徴を表現した一般的な名称で記載ください(ブランド名・商品名を追記いただいても構いません)。

(ハ) 補助事業による生産品の先進性(①または②のいずれかに記載)

① 生産する蓄電池セルの形状・性能等

外装形状	体積エネルギー密度	正極ニッケル比率	外装缶の外寸
角型の缶	Wh/L	%	
ラミネート	Wh/L	%	
円筒形の缶	Wh/L		直径 mm × 高さ mm

※申請するものに記入

※角型缶・ラミネートの場合、500Wh/L以上かつ正極ニッケル比率5割超であること

※円筒形缶の場合、650Wh/L以上かつ直径21mm×高さ70mmよりいずれも大型であること

② 普及している蓄電池との内部構造の違いおよび技術的優位性

**【書き方ガイド】**

償却費に関して、**新設・既存を問わずその設備の初年度の償却費**で計算していただいても構いません。なお、償却費の計算方法は**定額法・定率法のいずれかで統一**してください。

また比較すべき既存の生産ラインがない場合、**設備の最先端性を説明**することで代替可能です。

(二) 補助を受けて導入する設備の生産性

生産性の定義は、「償却費＋直接労務費＋エネルギーコスト」に対する生産物の割合としています。この生産性が、既存の生産ラインより向上していることを、以下の表を使いながら説明ください。

なお、数値については、試算で構いませんが前提を記載ください。

①償却費＋②直接労務費＋③エネルギーコストの比較表

	①	②	③	合計
比較対象設備				
補助事業で導入する設備				

(ホ) 投資規模

- ・ 投資する設備の1ライン当たりの生産能力： \_\_\_\_\_ GWh/年  
 ※ 1ライン当たりの生産能力が1 GWh/年 以上であること
- ・ 投資する設備のライン数： \_\_\_\_\_ ライン
- ・ 年間の総生産能力 : \_\_\_\_\_ GWh/年

(ヘ) 設備の転用可能性

- ① 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応
- ② 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組
- ③ 定置用蓄電池の生産への転用可能性についての説明

(2) 軽自動車/重量車用 車載用（駆動用）蓄電池

(イ) 設備投資の内容

**【書き方ガイド】**

設備投資の概要について、①**国際競争力の観点からの優位性・PRポイント**（技術面、規模面、生産性等）、②**国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性**等に言及しつつ、簡潔に記載してください。（5～10行程度）

(ロ) 補助事業による生産品の名称等

**【書き方ガイド】**  
 生産品の特徴を表現した一般的な名称で記載ください(ブランド名・商品名を追記いただいても構いません)。

(ハ) 補助事業による生産品の先進性 (①～③のいずれかに記載)

① 生産する蓄電池セルの形状・性能等

外装形状	体積エネルギー密度	正極ニッケル比率	外装缶の外寸
角型の缶	Wh/L	%	
ラミネート	Wh/L	%	
円筒形の缶	Wh/L		直径 mm × 高さ mm

※申請するものに記入

※角型缶・ラミネートの場合、500Wh/L 以上かつ正極ニッケル比率5割超であること

※円筒形缶の場合、650Wh/L 以上かつ直径 21mm × 高さ 70mm よりいずれも大型であること

② 普及している蓄電池との内部構造の違いおよび技術的優位性

③ 生産品の最先端性 (要件A技術要件(1)(2)以外の電池を生産する場合)

**【書き方ガイド】**  
 償却費に関して、**新設・既存を問わずその設備の初年度の償却費**で計算していただいても構いません。なお、償却費の計算方法は**定額法・定率法のいずれかで統一**してください。  
 また比較すべき既存の生産ラインがない場合、**設備の最先端性を説明**することで代替可能です。

(二) 補助事業による設備の生産性

生産性の定義は、「償却費+直接労務費+エネルギーコスト」に対する生産物の割合としています。この生産性が、既存の生産ラインより向上していることを、以下の表を使いながら説明ください。

なお、数値については、試算で構いませんが前提を記載ください。

①償却費+②直接労務費+③エネルギーコストの比較表

	①	②	③	合計
比較対象設備				
補助事業で導入する設備				



(ホ) 投資規模

- ・ 投資する設備の1ライン当たりの生産能力： \_\_\_\_\_ GWh/年  
※1ライン当たりの生産能力が1 GWh/年 以上であること
- ・ 投資する設備のライン数： \_\_\_\_\_ ライン
- ・ 年間の総生産能力 : \_\_\_\_\_ GWh/年

(ヘ) 設備の転用可能性

- ① 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応
  
  
  
  
  
- ② 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組
  
  
  
  
  
- ③ 定置用蓄電池の生産への転用方法

(3) 定置用蓄電池

(イ) 設備投資の内容

※投資のポイント、技術的先進性、競争優位性など

**【書き方ガイド】**

設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PRポイント(技術面、規模面、生産性等)、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。(5~10行程度)

(ロ) 補助事業による生産品の名称等

**【書き方ガイド】**

生産品の特徴を表現した一般的な名称で記載ください(ブランド名・商品名を追記いただいても構いません)。

(ハ) 補助事業による生産品の先進性 (①～③のいずれかに記載)

① 生産する蓄電池セルの形状・性能等

外装形状	体積エネルギー密度	正極ニッケル比率	外装缶の外寸
角型の缶	Wh/L	%	
ラミネート	Wh/L	%	
円筒形の缶	Wh/L		直径 mm × 高さ mm

※申請するものに記入

※角型缶・ラミネートの場合、500Wh/L 以上かつ正極ニッケル比率5割超であること

※円筒形缶の場合、650Wh/L 以上かつ直径 21mm × 高さ 70mm よりいずれも大型であること

② 普及している蓄電池との内部構造の違いおよび技術的優位性

③ 生産品の最先端性 (要件A技術要件(1)(2)以外の電池を生産する場合)

**【書き方ガイド】**

償却費に関して、**新設・既存を問わずその設備の初年度の償却費**で計算していただいても構いません。なお、償却費の計算方法は**定額法・定率法のいずれかで統一**してください。

また比較すべき既存の生産ラインがない場合、**設備の最先端性を説明**することで代替可能です。

(二) 補助事業による設備の生産性

生産性の定義は、「償却費+直接労務費+エネルギーコスト」に対する生産物の割合としています。この生産性が、既存の生産ラインより向上していることを、以下の表を使いながら説明ください。

なお、数値については、試算で構いませんが前提を記載ください。

①償却費+②直接労務費+③エネルギーコストの比較表

	①	②	③	合計
比較対象設備				
補助事業で導入する設備				

(ホ) 投資規模

投資する設備の生産能力： \_\_\_\_\_ MWh/年

※生産能力が 200 MWh/年 以上であること

(ヘ) 設備の転用可能性

① 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応

② 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組

### 3. 研究開発の内容

#### 【書き方ガイド】

別添 A(研究開発概要)の内容を要約する形でご記入ください。

#### (1) 申請する研究開発投資の目的（該当するもの全てにチェック）

- 設備投資補助を受けて導入する設備の生産性を更に向上させるための研究開発投資
- 設備投資補助を受けて導入する設備で生産する予定の生産物（蓄電池）に関する研究開発投資
- 設備投資補助を受けて導入する設備を活用して行う新技術・次世代製品のための研究開発投資

#### (2) 研究開発計画において取り組むべき課題

#### 【書き方ガイド】

生産工程の生産性向上、生産する製品の性能向上、生産に使用する資源のリスクマネジメント、生産する製品の市場投入などにおける課題を具体的に記載ください  
※課題を解決する方法が具体的に記載されているかご注意ください。

#### (3) 研究開発計画において達成すべき目標

#### 【書き方ガイド】

定量的な目標設定をしている場合は具体的に記載ください。  
※目標を達成する方法が具体的に記載されているかご注意ください。

#### (4) 研究開発の方法（導入する機械装置の概要を含む）

#### (5) 研究開発体制

#### 【書き方ガイド】

様式第 1-8. 実施体制図の転記も可です。研究開発が円滑に実施できることが分かるよう必要に応じて追記して説明してください。

#### (6) 研究開発スケジュール

#### (7) 研究開発で生み出された知財・技術の管理方針及び管理体制

#### 【書き方ガイド】

補助事業内で生み出された知財・技術の権利は 100%事業者側に帰属しますが、補助事業の目的を達成するために、管理方針および管理体制がとれることを記載ください。

どのように権利を確保・保護していく予定か以下の点を中心に記載してください。

- ・管理方針（特許公開で守る部分と非公開で守る部分の切り分け、など）
- ・管理体制（委員会、常設会議体、担当組織の名称とその責任者、指揮命令系統など）
- ・管理・保護方法（知財・技術の記録・管理方法、情報漏洩リスクへの対処方法、など）

※親会社やグループ会社に知財管理を委託する場合は、補助事業者および委託先双方について記載してください。委託先との間の情報のやり取りにおける漏洩リスクを防ぐ工夫も記載してください。

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所

氏名 (法人の名称)  
(代表者の役職・氏名)

**【書き方ガイド】**  
共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。  
各項目については、事業全体としての取組・対応方針について記載ください。

補助事業の詳細

補助事業の名称: \_\_\_\_\_

1. 設備投資の内容

(1) 補助事業による生産品(材料・部材)の名称及び技術先進性を満たす蓄電池の該当するものを使用されることについての説明

**【書き方ガイド】**  
生産品の特徴を表現した一般的な名称で記載ください(ブランド名・商品名ではない)。  
特に、グレードの違いによって先進性要件を満たす蓄電池に使われることや、専用品であることを示す場合には、その説明も合わせて記載ください。

(2) 設備投資の内容

**【書き方ガイド】**  
設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PRポイント(技術面、規模面、生産性等)、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。(5~10行程度)

(3) 補助を受けて導入する設備の生産性

**【書き方ガイド】**  
償却費に関して、新設・既存を問わずその設備の初年度の償却費で計算していただいても構いません。なお、償却費の計算方法は定額法・定率法のいずれかで統一してください。  
また比較すべき既存の生産ラインがない場合、設備の最先端性を説明することで代替可能です。

生産性の定義は、「償却費+直接労務費+エネルギーコスト」に対する生産物の割合としています。この生産性が、既存の生産ラインより向上していることを、以下の表を使いながら説明ください。

なお、数値については、試算で構いませんが前提を記載ください。

①償却費+②直接労務費+③エネルギーコストの比較表

	①	②	③	合計
比較対象設備				
補助事業で導入する設備				

(4) 投資規模

投資する設備の生産能力（蓄電池相当※）： \_\_\_\_\_ GWh/年

※生産能力が蓄電池 1 GWh/年 相当以上であること

(5) 設備の転用可能性

(イ) 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応

(ロ) 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組

(6) 蓄電池専用品以外のものが生産可能かどうか

はい  いいえ

※「はい」の場合

【生産可能な材料・部材の名称】

【蓄電池専用品以外の材料・部材も生産可能な設備投資が必要であることの合理的な理由】

【年間のうち蓄電池専用品の生産に設備を供する時間の割合の見込み】

## 2. 研究開発投資の内容

(1) 申請する研究開発投資の目的（該当するもの全てにチェック）

- 設備投資補助を受けて導入する設備の生産性を更に向上させるための研究開発投資
- 設備投資補助を受けて導入する設備で生産する予定の生産物（材料・部材）に関する研究開発投資
- 設備投資補助を受けて導入する設備を活用して行う新技術・次世代製品のための研究開発投資

(2) 研究開発計画において取り組むべき課題

**【書き方ガイド】**  
生産工程の生産性向上、生産する製品の性能向上、生産に使用する資源のリスクマネジメント、生産する製品の市場投入などにおける課題を具体的に記載ください  
※課題を解決する方法が具体的に記載されているかご注意ください。

(3) 研究開発計画において達成すべき目標

**【書き方ガイド】**

定量的な目標設定をしている場合は**具体的に**記載ください。  
※**目標を達成する方法**が具体的に記載されているかご注意ください。

(4) 研究開発の方法（導入する機械装置の概要を含む）

(5) 研究開発体制

**【書き方ガイド】**

様式第1-8. 実施体制図の転記も可です。**研究開発が円滑に実施できる**ことが分かるよう必要に応じて追記して説明してください。

(6) 研究開発スケジュール

(7) 研究開発で生み出された知財・技術の管理体制

**【書き方ガイド】**

補助事業内で生み出された知財・技術の権利は100%事業者側に帰属しますが、補助事業の目的を達成するために、**管理方針および管理体制がとれること**を記載ください。

どのように権利を確保・保護していく予定か以下の点を中心に記載してください。

- ・管理方針（特許公開で守る部分と非公開で守る部分の切り分け、など）
- ・管理体制（委員会、常設会議体、担当組織の名称とその責任者、指揮命令系統など）
- ・管理・保護方法（知財・技術の記録・管理方法、情報漏洩リスクへの対処方法、など）

※親会社やグループ会社に知財管理を委託する場合は、補助事業者および委託先双方について記載してください。**委託先との情報のやり取りにおける漏洩リスクを防ぐ工夫**も記載してください。

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所

氏名 (法人の名称)  
(代表者の役職・氏名)

**【書き方ガイド】**  
共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。  
各項目については、事業全体としての取組・対応方針について記載ください。

補助事業の詳細

補助事業の名称: \_\_\_\_\_

### 1. 設備投資の内容

(1) 設備投資の内容および先進性

**【書き方ガイド】**  
設備投資の概要について、①国際競争力の観点からの優位性・PRポイント(技術面、規模面、生産性等)、②国内電池サプライチェーンの強靱化の観点からの重要性等に言及しつつ、簡潔に記載してください。

特に、リチウムイオン電池材料としての十分な品質を有するリサイクル品となっていることの説明、設備の運用方針(品質を確保するための運用上の工夫等)を含む形で記載をしてください。

(2) 投資規模

廃電池換算での処理量: \_\_\_\_\_ トン/年

※廃電池(パック)換算での処理量が年間1,000トン/年以上であること

※車載用/定置用の廃リチウムイオン電池の処理が可能な設備であること

**【書き方ガイド】**  
補助事業の対象となる設備における、車載用・定置用の廃リチウムイオン電池が処理可能な能力を記載ください

(3) 設備の転用可能性

(イ) 設備投資完了後の技術トレンドの変化への対応

(ロ) 設備投資完了後のイノベーション・生産性向上への取組

### 2. 研究開発投資の内容

(1) 申請する研究開発投資の目的(該当するもの全てにチェック)

- 設備投資補助を受けて導入する設備の生産性を更に向上させるための研究開発投資
- 設備投資補助を受けて導入する設備で生産する予定の生産物(リサイクルによって生み出される材料)に関する研究開発投資

□ 設備投資補助を受けて導入する設備を活用して行う新技術・次世代製品のための開発投資

(2) 研究開発計画において取り組むべき課題

**【書き方ガイド】**

生産工程の生産性向上、生産する製品の性能向上、生産に使用する資源のリスクマネジメント、生産する製品の市場投入などにおける課題を具体的に記載ください

※課題を解決する方法が具体的に記載されているかご留意ください。

(3) 研究開発計画において達成すべき目標

**【書き方ガイド】**

定量的な目標設定をしている場合は具体的に記載ください。

※目標を達成する方法が具体的に記載されているかご留意ください。

(4) 研究開発の方法（導入する機械装置の概要を含む）

(5) 研究開発体制

**【書き方ガイド】**

様式第1-8. 実施体制図の転記も可です。研究開発が円滑に実施できることが分かるよう必要に応じて追記して説明してください。

(6) 研究開発スケジュール

(7) 研究開発で生み出された知財・技術の管理体制

**【書き方ガイド】**

補助事業内で生み出された知財・技術の権利は100%事業者側に帰属しますが、補助事業の目的を達成するために、管理方針および管理体制がとれることを記載ください。

どのように権利を確保・保護していく予定か以下の点を中心に記載してください。

- ・管理方針（特許公開で守る部分と非公開で守る部分の切り分け、など）
- ・管理体制（委員会、常設会議体、担当組織の名称とその責任者、指揮命令系統など）
- ・管理・保護方法（知財・技術の記録・管理方法、情報漏洩リスクへの対処方法、など）

※親会社やグループ会社に知財管理を委託する場合は、補助事業者および委託先双方について記載してください。委託先との間の情報のやり取りにおける漏洩リスクを防ぐ工夫も記載してください。



蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所  
氏名 (法人の名称)  
(代表者の役職・氏名)

国内サプライチェーン強靱化への寄与

**【書き方ガイド】**

共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。

・「本補助事業でサプライチェーンのマネジメントを統括する事業者」や、「GHG 排出への対策を統括する事業者」と代表申請者が異なる場合、担当がわかるように申請者の枠を追加し記載ください。

補助事業の名称 : \_\_\_\_\_

※共同申請の場合、本補助事業でサプライチェーンのマネジメントを統括する事業者が記載すること

**【書き方ガイド】**

1. は貴社の補助対象事業における製品製造に関するサプライチェーン途絶リスクについての分析に関する記載項目です。

1. サプライチェーン途絶リスクへの対処方針 (供給途絶への対応等)

(1) 主要部材、特定国依存度が高い部素材、調達先切り替え可能性の低い部素材

**【書き方ガイド】**

下表に、「主要部材」、「特定国依存度が高い部素材」、「調達先切り替え可能性の低い部素材」いずれかに当てはまる部素材について、調達の状況と、補助設備での生産時における調達先を記載ください。(調達先は国名もしくは国内であれば都道府県名まで記載ください)

部材・材料名	特定国依存	調達先切り替えの 困難度	想定サプライチェーン	
			竣工後1年目	竣工後5年目
〇〇	高 (A国●%)	低		
〇〇	低	低		

(2) 今回の投資で生産対象とする物資と同じ物資を生産する国内外拠点

※様式第2の補助事業実施場所と同じ拠点である場合は、それが分かるように記載すること

(事業者名、拠点名(施設名)、所在地)

**【書き方ガイド】**

自社または連結会社(共同申請の場合はそれぞれの)の行う事業について記載ください。その際、それぞれの実施者がわかるように記載ください。(類似の物資を生産している場合は、それぞれの生産拠点を整理して記載ください ex.)純度の違う素材、サイズ・規格の違う外装缶等)

(3) サプライチェーン途絶リスクに対するマネジメントの基本方針

**【書き方ガイド】**

社内方針の整備状況とその内容、継続的な検討体制や仕組みの構築状況等について記載してください。

(4)における回答内容の項目間の繋がりについて補足があれば記載ください。

BCPを策定しており、その中でサプライチェーン途絶リスクについても対応が記載されている場合には、関連部分をご記載ください。

(4) 蓄電池サプライチェーンの途絶リスク分析と対応策

【短期的な取組】

途絶リスクが懸念される部材・材料	途絶要因	途絶リスクへの取組	取組時期
●●		●●	●●
●●		●●	●●
●●		●●	●●

※別添ファイルとして提出も可

**【書き方ガイド】**  
途絶要因は例えば、  
**災害、カントリーリスク、貿易制限的措置、需給バランスの崩れによる供給逼迫、感染症が挙げられます。**

**【書き方ガイド】**  
**短期的に検討・取組を行うことのできる対策（在庫確保、代替材料のリストアップ・評価等）を中心に記載を行ってください。**  
ご検討中・実施中の対策を広く記載してください。

**【書き方ガイド】**  
○○より取り組み予定等適宜補足の文言を追加ください

【長期的な取組】

途絶リスクが懸念される部材・材料	途絶要因	途絶リスクへの取組	検討開始時期
●●		●●	●●
●●		●●	●●
●●		●●	●●

**【書き方ガイド】**  
途絶要因は例えば、  
**災害、カントリーリスク、貿易制限的措置、需給バランスの崩れによる供給逼迫、感染症が挙げられます。**

**【書き方ガイド】**  
**中長期的に検討・取り組む内容（代替となる材料開発、供給多元化、材料等に関する長期供給契約締結、原材料への投資、リサイクル材の利用等）を中心に記載を行ってください。**  
ご検討中・実施中の対策を広く記載してください。

**【書き方ガイド】**  
・既存の取組／開始時期が決まっている  
・今後の取組／開始時期は未定だが、取組を検討しているもの  
○○より取り組み予定等適宜補足の文言を追加してください。

**【書き方ガイド】**

上記への記載が厳しい、取り組みが困難なリスクに対して、その要因を記載してください。

**【その他取組が難しいリスク】**

途絶リスクが懸念される部材・材料	途絶要因	取組が難しい要因
●●		●●
●●		●●
●●		●●

※短期的な取組としては、操業開始前後までに実施できるような内容を、長期的な取組としては数年以上を要するような内容を想定しています。補足等あれば表下部に記載ください。

※別添ファイルとして提出も可

**2. 製造時・廃棄時の温室効果ガス排出量低減への対処方針**

**(1) 製造時・廃棄時の温室効果ガス（GHG）排出量低減のマネジメント**

**【書き方ガイド】**

マネジメントの取組そのものに加え、(2)の取組における全体像についても記載可能であれば補足説明ください。自社内のマネジメントと、他社も含めたSC上のマネジメントそれぞれについて記載ください。

**【書き方ガイド】**

本補助事業に関わる生産のサプライチェーンを対象に、GHG排出低減の取組を進めている内容について記載してください。工程ごとの排出量多寡については想定でも構いませんので(具体的な取組がある場合は(1)へ記載)、低減の取組がある工程をできるだけ記載ください。

**(2) GHG排出削減への対応策**

**【生産設備の竣工前もしくは竣工と同時に開始する取組】**

GHG排出量の多い工程	GHG排出低減の取組	取組開始時期
●●	●●	●●
●●	●●	●●
●●	●●	●●

※別添ファイルとして提出も可

**【書き方ガイド】**

GHG排出低減の取組は例えば、  
・工場の省エネの推進（投資、工程の工夫によるエネルギー使用の効率化等）  
・プロセスの電化  
・生産技術開発  
・再生可能エネルギーの調達  
・サプライチェーンの上流／下流のプレイヤーとの連携  
（例：電池の構造等の見直しによる部素材利用の効率化等）など。  
それぞれの工程におけるGHG排出低減の取組内容、そしてその取り組みによるSC全体における削減効果をできるだけ具体的、定量的に記載してください。

**【書き方ガイド】**

〇〇より取り組み予定等適宜補足の文言を追加ください

**【生産設備の竣工後に開始する取組】**

GHG排出量の多い工程	GHG排出低減の取組	取組開始時期
●●	●●	●●
●●	●●	●●
●●	●●	●●

**【書き方ガイド】**

GHG 排出低減の取組は例えば、

- ・工場の省エネの推進（投資、工程の工夫によるエネルギー使用の効率化等）
- ・プロセスの電化
- ・生産技術開発
- ・再生可能エネルギーの調達

・サプライチェーンの上流／下流のプレイヤーとの連携

（例：電池の構造等の見直しによる部素材利用の効率化等）など。

それぞれの工程における GHG 排出低減の取組内容、そしてその取り組みによる SC 全体における削減効果をできるだけ具体的、定量的に記載してください。

**【書き方ガイド】**

・既存の取組／開始時期が決まっている

・今後の取組／開始時期は未定だが、取組を検討しているもの

○より取り組み予定等適宜補足の文言を追加してください。

3. 材料の倫理的調達への対処方針

※（本補助事業に限らず）企業として材料の倫理的調達リスクに関わるマネジメントについて記載（基本方針、実施体制、リスク分析、対応策、情報開示状況など）

**【書き方ガイド】**

・本事業に関連して取り組んでいる/ 取り組む予定の内容についてできるだけ具体的に記載してください。（本事業に特化した取り組みがない場合、全社的な方針を記載いただいても構いません。）

・また、今後取り組む又は取組を検討する内容については、取組の開始時期や検討の時期についても記載をしてください。

※URL のみではなく、直接記載してください。）

4. 蓄電池システムの制御に係るソフトウェアの設計・開発、更新体制

※バッテリーマネジメントシステム（BMS）の組付け工程を含む場合のみ記載すること

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

申請者 住所  
氏名 (法人の名称)  
(代表者の役職・氏名)

国内サプライチェーン強靱化への寄与

**【書き方ガイド】**

共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。

・「本補助事業でサプライチェーンのマネジメントを統括する事業者」や、「GHG排出への対策を統括する事業者」と代表申請者が異なる場合、担当がわかるように申請者の枠を追加し記載ください。

補助事業の名称 : \_\_\_\_\_

※共同申請の場合、本補助事業でサプライチェーンのマネジメントを統括する事業者が記載すること

1. リサイクル事業の強化に向けた取組方針

(1) リサイクルコスト低減のための方策

(2) より高品質な電池材料にリサイクルするための工夫

2. 製造時・廃棄時の温室効果ガス排出量低減への対処方針

(1) リサイクル時の温室効果ガス(GHG)排出量低減のマネジメント

**【書き方ガイド】**

マネジメントの取組そのものに加え、(2)の取組における全体像についても記載可能であれば補足説明ください。社内でのマネジメントと、他社も含めたSC上のマネジメントそれぞれについて記載ください。

**【書き方ガイド】**

本補助事業に関わるリサイクル工程を中心に、**GHG 排出低減の取組を進めている内容**について記載してください。  
工程ごとの排出量多寡については想定でも構いませんので(具体的な取組がある場合は(1)へ記載)、低減の取組がある工程をできるだけ記載ください。

(2) GHG 排出削減への対応策

**【生産設備の竣工前もしくは竣工と同時に開始する取組】**

GHG 排出量の多い工程	GHG 排出低減の取組	取組開始時期
●●	●●	●●
●●	●●	●●
●●	●●	●●

※別添ファイルとして提出も可

**【書き方ガイド】**

GHG 排出低減の取組は例えば、  
・工場の省エネの推進 (投資、工程の工夫によるエネルギー使用の効率化等)  
・プロセスの電化  
・生産技術開発  
・再生可能エネルギーの調達  
・サプライチェーンの上流/下流のプレイヤーとの連携  
(例: 電池の構造等の見直しによる部素材利用の効率化等) など。  
それぞれの工程における **GHG 排出低減の取組内容**、そしてその取組みによる **SC 全体における削減効果**をできるだけ**具体的、定量的に**記載してください。

**【書き方ガイド】**

〇〇より取組み予定等適宜補足の文言を追加ください。

**【生産設備の竣工後に開始する取組】**

GHG 排出量の多い工程	GHG 排出低減の取組	取組開始時期
●●	●●	●●
●●	●●	●●
●●	●●	●●

**【書き方ガイド】**

GHG 排出低減の取組は例えば、  
・工場の省エネの推進 (投資、工程の工夫によるエネルギー使用の効率化等)  
・プロセスの電化  
・生産技術開発  
・再生可能エネルギーの調達  
・サプライチェーンの上流/下流のプレイヤーとの連携  
(例: 電池の構造等の見直しによる部素材利用の効率化等) など。  
それぞれの工程における **GHG 排出低減の取組内容**、そしてその取組みによる **SC 全体における削減効果**をできるだけ**具体的、定量的に**記載してください。

**【書き方ガイド】**

・既存の取組/開始時期が決まっている  
・今後の取組/開始時期は未定だが、取組を検討しているもの  
〇〇より取組み予定等適宜補足の文言を追加してください。

蓄電池 先端生産技術導入・開発促進事業事務局長 殿

**【書き方ガイド】**

共同申請の場合は、代表申請者名を記載してください。  
各項目については、事業全体としての取組・対応方針について記載ください。

申請者 住所  
氏名 (法人の名称)  
(代表者の役職・氏名)

事業戦略及び経済効果等に関する申請事項

補助事業の名称 : \_\_\_\_\_

1. 今回の補助事業を含めた電池関連事業の事業戦略性

(1) 今後の事業拡大の戦略・グローバルな競争環境変化への対応方針

**【書き方ガイド】**

以下のような観点から記載をお願いします。  
・今回の補助を受けて行う設備投資に加え、今後、**グローバル展開を含め**、どのような事業拡大の戦略を描いているか。その中で、今回の補助を受けて行う研究開発をどのように活かしていくか。  
・**グローバルな規制動向等を踏まえ**、様式4で記載の製造・廃棄段階のCO2削減や、材料の倫理的調達以外に、例えば、電池のリユース・リサイクル等の社会的要請にどのように対応していくか。  
(特に、分類A・Bについては、リサイクル材料使用やリサイクルしやすい製品製造などに関して)

(2) 生産性のボトルネックとその解消に向けた取組 (計画含む)

※本補助事業における研究開発を除く

**【書き方ガイド】**

IT投資や、オペレーション面の対策等、補助事業内での研究開発を除いた取組について記載ください。(3~10行程度)

(3) 事業性向上やグローバルな競争環境変化への対応に向けた社内他部門、サプライチェーンの上流および下流のプレイヤーとの連携の状況 (計画含む)

**【書き方ガイド】**

・電池や材料・部材、リサイクル材料の**高性能化・低価格化等**に向けて、サプライヤーや供給先、リサイクル事業者などを含めた**関係者との連携状況を具体的に**記載ください。  
(特に、分類Cについては、廃電池の確保を十分に行うための電池の回収に関するプレイヤーとの連携についての取り組みがあれば記載ください)

2. 日本における経済波及効果及び雇用創出効果

**【書き方ガイド】**

補助事業(補助を受けて貴社が実施する事業)によって生まれる**直接的、間接的(サプライチェーン上流、下流、その他波及先での投資誘発、競争力向上等)**な影響について、**定量、定性両面から**分析してください(10行程度)